

大槌 虎舞

感謝の舞

平成23年3月11日に発生した東日本大震災津波被害に対しまして、全国からたくさんのご支援をいただきました。感謝の意を込めて、岩手県大槌町から虎舞をお届けします。

日程

令和4年

11月12日(土)

演舞 1	国分寺台東小学校	10:30~11:00
	千葉県市原市東国分寺台 5丁目 2-7	
演舞 2	毘沙門天 善國寺	14:00~14:30
	東京都新宿区神楽坂 5丁目 36	
演舞 3	赤城神社	15:30~16:00
	東京都新宿区赤城元町 1-10	

※演舞2、3は雨天の場合中止

大槌虎舞

江戸時代中期、岩手県三陸の豪商、吉里吉里善兵衛が所有する大型廻船の船方達が、当時江戸で大流行していた近松門左衛門の浄瑠璃「国姓爺合戦」を見物し、故郷に帰って虎退治の場面を舞踊化したなど諸説あります。大槌町内には5つの虎舞団体があり、数百年前の郷土芸能を今に伝えています。



遊び虎

春の日差しを浴び、無心に遊び戯れる虎の様子を表現した踊り。



跳ね虎

追い込まれた虎が手負いとなり、暴れ狂う様子を表現した踊り。



笹喰み

獲物を求めて気性の荒くなった虎が笹に噛みつき牙を磨く様子を表現した踊り。